

Canon

天三



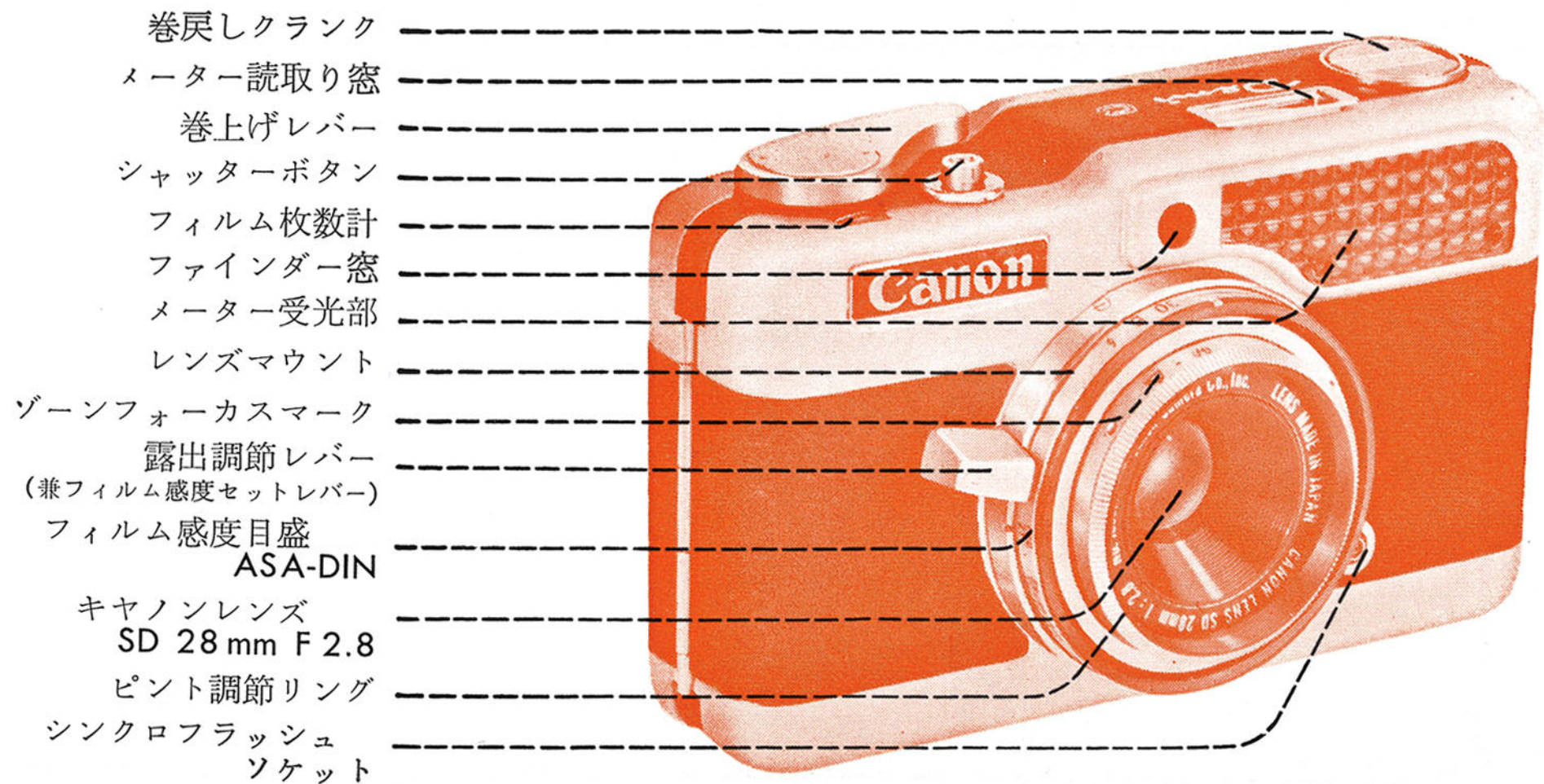
使用説明書

Demi ©

このたびはキヤノンデミ Cをお選びくださいまして、まことにありがとうございます。

キヤノンデミ Cは皆様のご要望におこたえして完成した、このタイプ初の完全レンズ交換式ハーフサイズカメラです。

皆様のメモがわり、また高度な撮影に十二分なご活用をいただくため、ぜひ使用書を熟読してください。



キヤノンデミ C の特長



キヤノンデミ C は技術とデザインで定評のキヤノンが精密カメラ製造の技術を結集したユニークなハーフサイズカメラです。

手のひらに入る大きさ，シャープなレンズ，望遠レンズの交換使用可能，操作性のよいスタイルなどはデミ C の大きな長所といえましょう。

・手に入るカメラ

誰の手にも合う丸味をもった独特のデザインで，薄型にするために随所にアイデアを盛り込み使いやすく持歩きに至便な形態にしました。

・豪華なレンズ

標準 SD 28 mm F 2.8 3 群 5 枚構成

カラーバランスのよいシャープなレンズです。普通の 35 mm 判と同質の写真がえられるよう，とくに収差補正が厳しく追求されました。

・レンズ交換可能

このタイプでは初めての交換レンズが用意されています。

望遠 SD 50 mm F 2.8 6 群 7 枚構成

普通 35 mm 判に換算すると 80 mm の長焦点レンズに匹敵します。

28 mm レンズは気軽なスナップや風景に

50 mm レンズは風景，人物のポートレートやごく自然な街頭スナップにと使いわけることができます。




- ・高性能ビハインド式プログラムシャッター
1/250 秒 F 22 ~ 1/30 秒 F 2.8 の組み合わせ，B および \downarrow フラッシュ目盛 (1/30 秒) をもつレンズ後端のプログラムシャッター
- ・ヘリコイドフォーカス
前玉回転式と異り，レンズ系全体が光軸上を直進する理想的なヘリコイドフォーカスタイプですから最良の性能がつねに発揮されます。
- ・ぜいたくなプリズムファインダー
4 枚のレンズと 3 コのプリズムからなる実像式で見やすさは抜群です。ファインダー位置はパララックスが最少量の位置にあり，きわめて正確です。
- ・プログラムシャッターに連動する追針式メーター
シャッター性能がフルに発揮され 1 操作で適正露出の得られる安定性の高い露出計がコンパクトに内蔵されています。シャッタースピードに対する適正絞り値の組み合わせは自動的にきまります。
- ・その他の使いやすさ
ゾーンフォーカス式と距離測定式のピント調節，操作性のよい巻上げレバーなどは，このカメラを使いやすくするために大きな役割をもっています。

キヤノンデミ C の性能



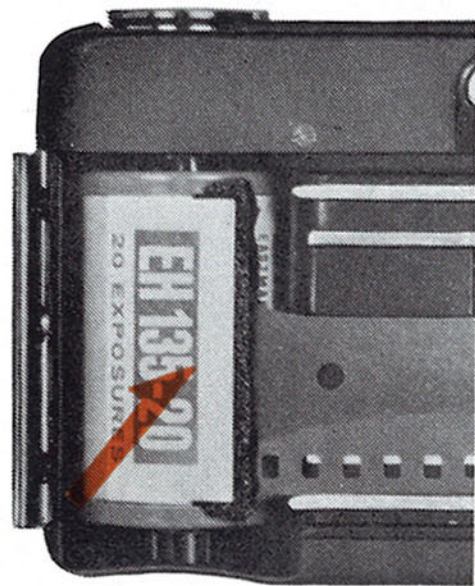
- ・型 式： 35 mm フィルム使用の 24×18 mm 判 ハーフサイズカメラ
- ・レ ン ズ： キヤノンレンズ SD 28 mm F 2.8
3 群 5 枚構成
キヤノンレンズ SD 50 mm F 2.8
6 群 7 枚構成
- ・画 角： SD 28 mm F 2.8 → 55°
SD 50 mm F 2.8 → 35°
- ・コーティング： アンバーのスペクトラ ハードコーティッド
- ・絞 り： F 2.8 ~ 22
- ・焦点調節： 直進ヘリコイドによるゾーンフォーカスおよび距離測定式
- ・露 出 計： セレン光電池による追針式連動露出計
- ・露出計連動範囲： EV 6 ~ 17
- ・フィルム感度目盛： ASA 400 (320~250) (200) (160~125) 100 (80~64) (50) (40~32) 25 (16~12) 10
DIN 27 (26~25) (24) (23~22) 21 (20~19) (18) (17~16) 15 (13~12) 11



- ・シャッター：プログラム式レンズシャッター，1/250 秒 F 22～1/30 秒 F 2.8
B および  フラッシュ目盛 (1/30 秒)
- ・フラッシュ同調：X 接点 JIS B 型ソケット
スピードライト完全同調，M F 級バルブ使用可能
- ・ファインダー：0.41 倍，ケプラータイプ実像式 SD 50 mm F 2.8 用ファインダー
フレームおよびパララックス補正マークあり
- ・巻上げ：1 作動 145° 小刻み巻上げ可能
- ・フィルム枚数計：順算自動復帰式
- ・大きさ・重量：115×68×41 mm/320 g (ボディのみ)
- ・アクセサリー：34 mm，48 mm フィルター各種
フラッシュユニット カプラー
フラッシュユニット J-3
5 発連続発光のフラッシュクイント，セルフタイマー 6 など

キヤノンデミ C の撮影手順

1 フィルムをつめる
P. 23



2 フィルム感度を合わせる
P. 12



セットレバー

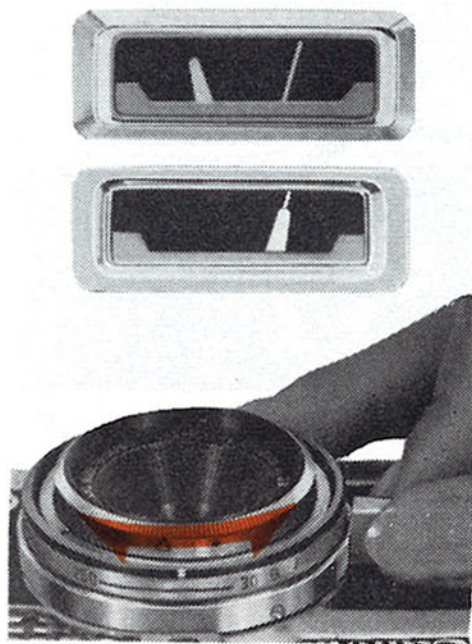
3 レンズキャップ
をはずす



4 レバーを巻上げ
P. 10



- 5** 露出調節レバーを
回し露出の調節を
する
P. 12



- 6** ピントを合わせる
P. 14



- 7** ファインダーを
覗いて構図
P. 15

28mm レンズは視野全域で
50mm レンズはファインダー
フレーム (枠内) で構図を決める

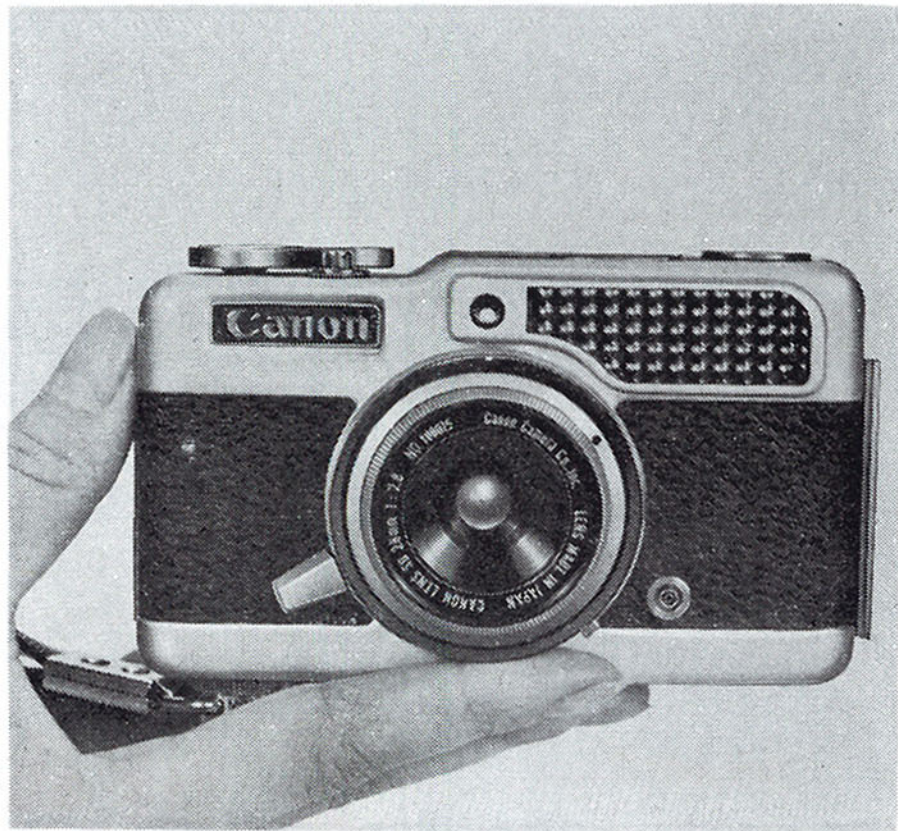


- 8** シャッター
ボタンを押す
P. 15



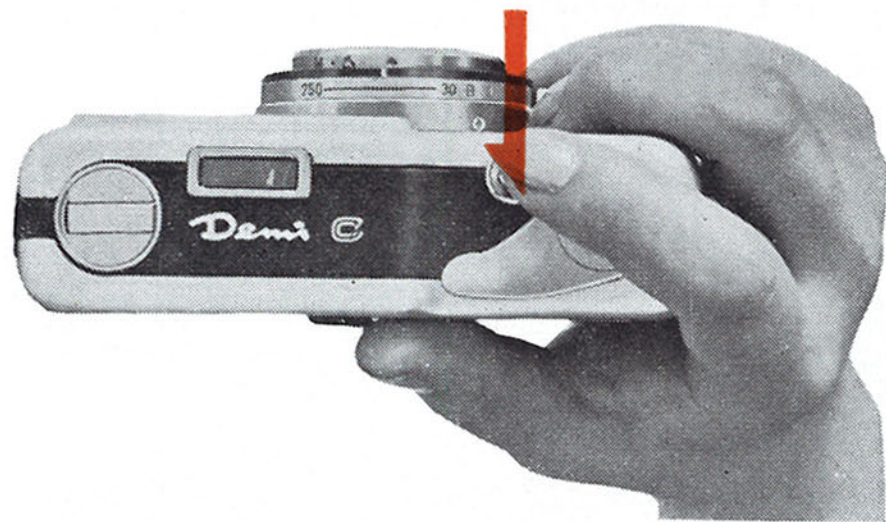
キヤノンデミ C の扱い方

はじめての方の中には、カメラの使用法を難しく考え、非常に心配される方も沢山いらっしゃると思いますが、一度デミ C を操作して頂けば、すべての心配が一掃され楽しい撮影ができます。したがってご使用のはじめに当って必ず使用書をお読み頂き、各部の操作を完全にマスターすることが大切です。その手はじめに巻上げレバーの操作を行い、カメラに慣れてからフィルムをつめ、実際の撮影に入るという手順をおふみください。





止まるまで回せ



1. レバーを巻上げると、シャッターがかかりフィルムが1コマ巻上げられます。
2. シャッターボタンを押すと、シャッターが作動し、再びレバーの巻上げができます。

- ・フィルム枚数計は、1目盛が2コマ分で2回目の巻上げ毎に進みます。
- *レバーは小刻み巻上げもできます。

シャッターと絞り

Demi ©

シャッターを開いてフィルムに光を与えることを露出または露光といいます。

シャッターと絞りは、この露光の調節をするもので、シャッターは露出時間の調節をおこない、絞りは光の量の調節をします。

キャノンデミCは連動メーターで簡単に適正露出が得られるようになっています。

露出調節レバー

これを回してメーター指針に追針を重ねると自動的に露出調節が行われます。

リング上の目盛は $1/250$ ~ $1/30$ 秒などという場合の分母が目盛られています。

B はバルブ露出で長時間露光用です。

⚡ マークはフラッシュ撮影時に用います。

シャッタースピードは $1/30$ 秒となり、**B** 同様



シャッタースピード目盛



絞り目盛

絞りは任意に選らぶことができます。

絞りは、その数値が大きくなるに従って暗くなり、数値が小さくなると明るくなるようになっています。キャノンデミCはプログラム式シャッターを採用していますから連動メーターによりシャッタースピードは数値の間で無段階に自動調節され、同時に絞りに対応します。

1. フィルム感度を合わせる

- 露出調節レバー（兼フィルム感度セットレバー）を右に回し ⚡ マークを指標 II に合わせ、更に力を加えて回すと高い感度の方へ
- 左に回し 250 を指標 II に合わせ、更に力を加えると低い感度に合わせられます。

フィルムの感度を合わせた後、露出調節リングを回し指標を 250~30 の間に戻しておきます。



250 ————— 30 B ⚡

- これをしておかないと連動撮影ができません。フィルムをつめ終わったら直ちにセットしてください。

*フィルム感度はフィルムの外装箱または説明書に明示されています。SSは ASA 100, SSSは ASA 200 です。

*フィルム感度の合わせ方は、黒白・カラーとも同じです。

2. 露出の決め方

これから実際の撮影に入ります。

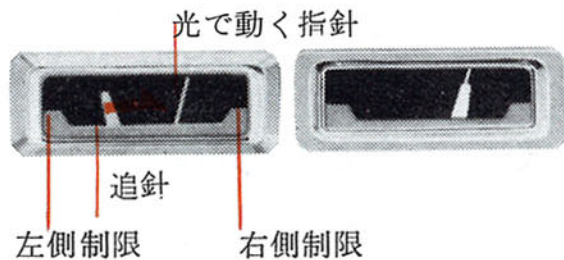
- カメラを被写体に向けるとメーターの指針が動きます。
- 露出調節レバーを回して追針(太針)を指針(細針)の上に合致させます。
- この操作で露出の調節が完了します。

*手動絞りレバーは動かさなくてすみます。動かしても元に戻ります。

*露出調節レバーを回しても追針が指針に合致しないときには連動露出計による撮影はできません。撮影条件が明るすぎるか、暗すぎる場合です。

*指針が右側一杯に入り 1/250 秒でも合わないときは露出過度の状態ですから ND フィルターを用います。

*指針が左側制限に入ったときは 1/30 秒でも露出不足になりますから、フラッシュ撮影か B (バルブ) 撮影に切りかえます。



露出調節リングを回す



3. ピントの調節

露出がきまったらピント合わせをします。

撮影するには必ず被写体の距離によってレンズの調節をしなければなりません。

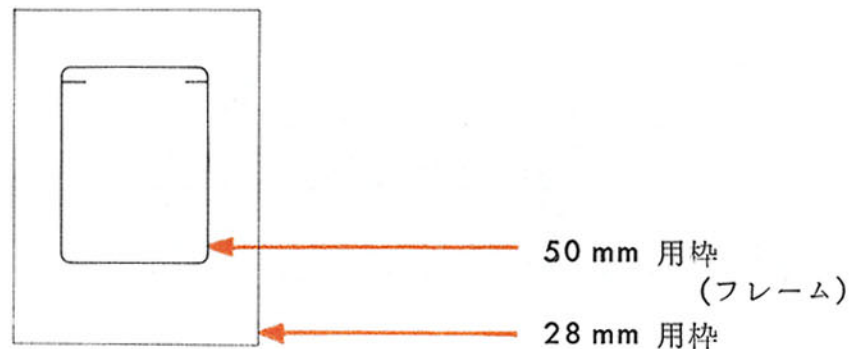
これがいわゆるピント調節です。

- ・ピント調節リング上にある3つの絵から被写体に適したものを選択します。
- ・ピント調節リングを回し●指標に絵を合わせます。
- ・この操作で被写体にピントが合います。

CANON CAMERA CO., INC.						
FOR	SD	28 mm	1 : 2.8			
	●	●	●	●	●	▲
m	0.8	1	1.5	3	5	15
ft	2.6	3	5	10	15	50

裏蓋距離表

4. レバーを巻上げ



5. ファインダーで構図を決める

ファインダーは撮影する範囲をきめるものです。デミCのファインダーはレンズの真上にあるので一杯の構図でも頭を切ったりする心配がありません。

* 外側までの全視野は SD 28 mm レンズ使用



時の画面視野で内側の枠内視野は SD 50mm レンズ使用時に用います。

6. シャッターボタンを押します

構図がきまったらシャッターボタンを静かに押し下げます。

.....Demi ©



手動絞り撮影

1/30～1/250秒間の連動撮影を離れて **B** と **⚡** マークの撮影には手動絞りを用います。

手動絞りレバーはこの場合だけ操作できます。

⚡ マークの場合のシャッタースピードは1/30秒です。したがってどうしても手動絞りを使用したいときは **⚡** マークに合わせて撮影ができるわけです。フラッシュ撮影は暗い被写体でメーター連動による撮影ができない場合に利用します。

フラッシュ撮影の準備と撮影

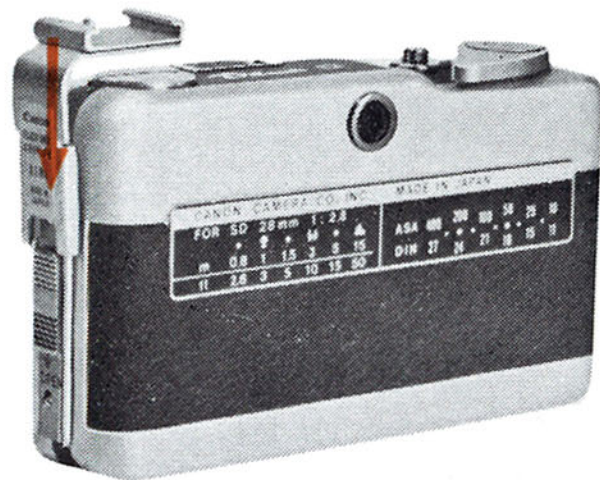
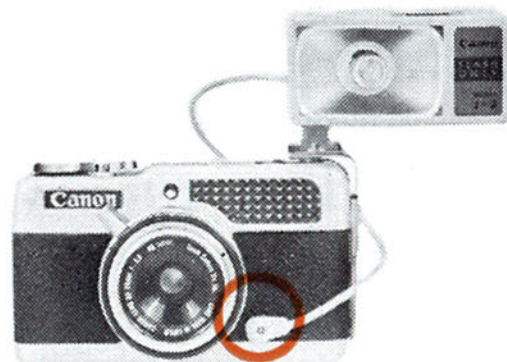
- ・デミ C にはフラッシュユニット J-3 かフラッシュクイントをご使用ください。
- ・フラッシュユニットカプラーを取付金具にすべりこませて取付けます。
- ・カプラーのアクセサリースュー(取付け座)にフラッシュユニットを取付け、コードをフラッシュソケットに接続します。


- * デミCにフラッシュユニット J-2 を使用するときにはベースレスアダプター AG または PH を装着し、小型ベースレスバルブをご使用ください。

なお、スワンベースタイプの大型バルブを用いるとゴーストイメージを発生することがありますからご注意ください。

- * ガイドナンバーはフラッシュバルブにより異なります。外装箱に記されており、絞りを決めるために必要です。

- * ガイドナンバーはフィルム感度、フィルムの種類によって数値が異なり、メートル、フィート用で明示されています



- ・露出調節リングを回し、フラッシュマーク  を **II** 指標に合わせます。
(シャッタースピードは **1/30**秒になります)

- ・距離を求め絞りを決めます。
絞り値の算出は使用するフラッシュバルブのガイドナンバーを距離で割ると求められます。
$$\text{絞り値} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離}}$$

したがって、まずピント合わせをし、撮影距離を求めます。正確な撮影距離はカメラ裏蓋の距離表を参考にしてください。

算出された絞り値を手動絞りレバーによってセットします。

B (バルブ) 撮影／長時間露出の撮影

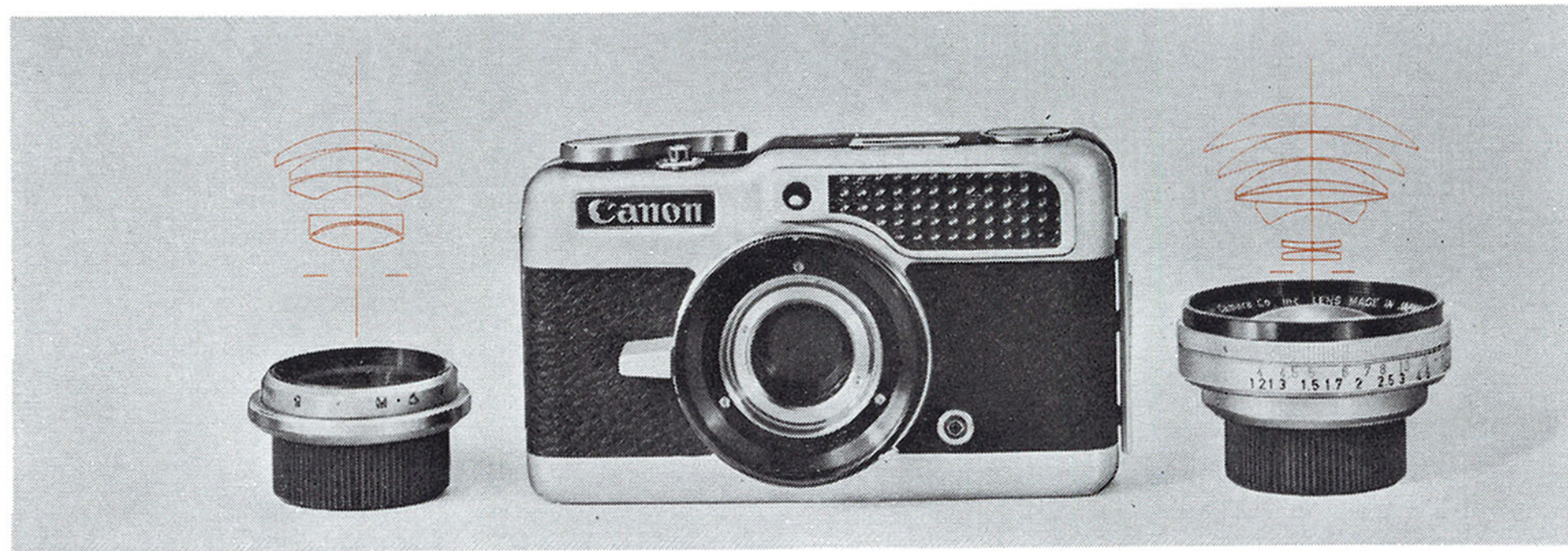
B 撮影はシャッターボタンを押している間中はシャッターが開いて露出が行われ、手を離すとシャッターが閉じます。

したがって露出時間の調整は任意に行えます。

- ・露出調節リングを動かし **B** を **II** 指標に合わせる。
- ・手動絞りレバーを動かして任意の絞りをセットする。
- ・シャッターボタンを押す。

*長時間露出ですから、必ず三脚とレリーズをご使用ください。

*きわめて長い露出を行う場合にはロック付レリーズを用いると便利です。



キャノンデミ C の望遠レンズ, SD 50mm F 2.8 はフルサイズの 35 mm 判に換算すると 80 mm の焦点距離をもつ長焦点レンズに匹敵します。撮影された画像は遠近感が極く自然に描写さ

れ, 特に遠方からの風景写真に最適です。また, 人物のポートレートや街頭スナップ撮影にも威力を発揮します。



レンズをカメラからはずすにはレンズのピント調節リングを左回し（小矢印方向）に回します。レンズを取付けるにはレンズ底蓋を取

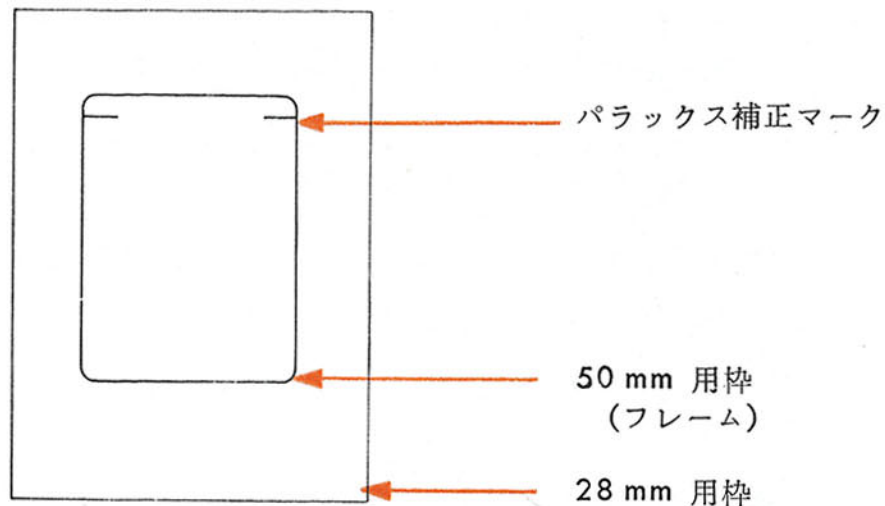
去った後、レンズが傾かないように、レンズマウントのねじ溝に合わせながら右回し（大矢印方向）に回し固定します。

撮 影

SD 50 mm レンズは SD 28 mm レンズよりも焦点距離が長く望遠系に属するため被写界深度も浅くより正確なピント調節を必要とします。したがってデミCの SD 50 mm レンズには最至近撮影距離 1.2 m ~ ∞ 無限遠までの距離を細かく距離リング上で表示し、レンズの繰出し量を調節するしくみになっています。撮影にあたっては被写体までの距離を目測ではかり、リングを回してその距離数値を指標 ● に合わせます。

これでピント調節は完了。

ファインダーによる構図の決定は前にも述べましたように 50 mm 用光枠 (フレーム) 内で

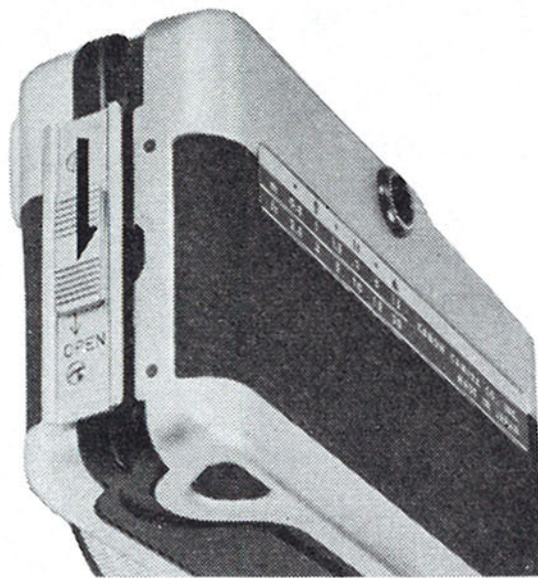
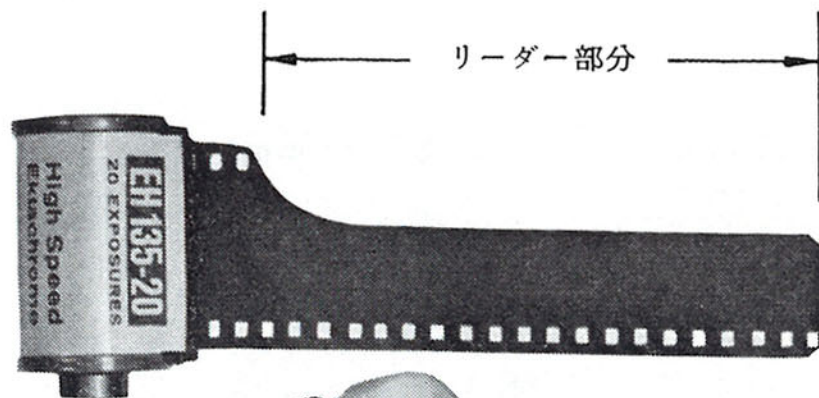


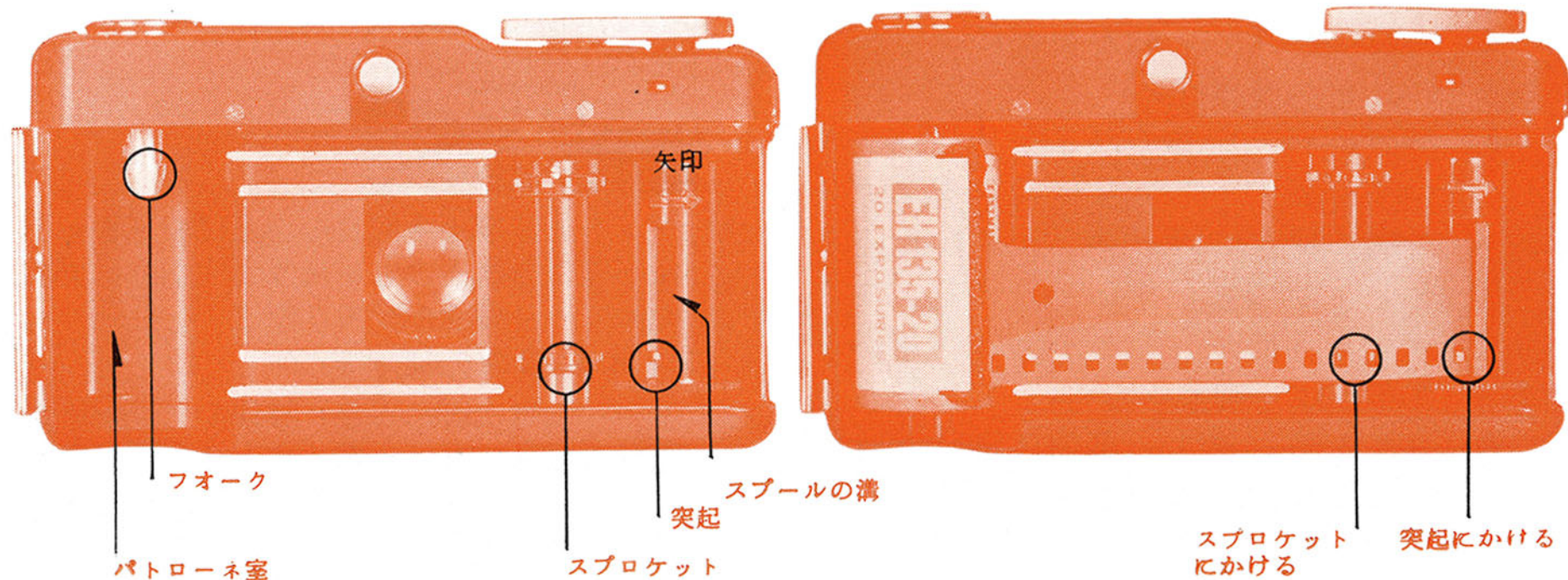
おこなってください。

あとはすべて 28 mm レンズ装着時と同様の操作で望遠効果を生かした撮影をお続けください。50mm レンズを使用して最至近距離で撮影する場合は、上部をパララックス補正マーク内におさめてください。

フィルムは市販のパトローネ入り
35mm フィルムを使用します。

1. 裏蓋開閉止め金を下側に押し下げると裏蓋が開きます。
 - 撮影枚数計はS(スタート位置)に自動的に戻ります。
2. パトローネ室内にフィルムを収めます。
 - 巻戻しノブは上方に引出せないようになっていますから、ボディ下部の切欠きを利用して、下からパトローネをさし込みます。その際フォークと溝を合わせて入れます。

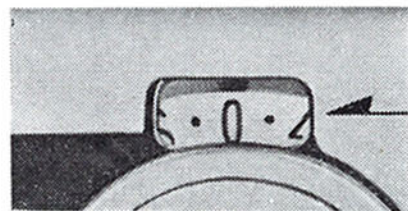




3. レバーを巻上げるかスプールのつばを矢印方向へ回すかしてスプールの

溝を出し，そこにフィルムのリーダー部分先端を十分にさし込み，

4. 同時に溝ぎわにある突起にフィルム
の孔をかけます。
5. 再びレバーを巻上げるかスプールの
つばを回すかしてフィルムをスプー
ル軸に巻きつけ、フィルムのたるみ
をとったのち、フィルムの孔がスプ
ロケットに正しくかかっているかど
うかをよく確かめ、
6. 裏蓋を閉じます。裏蓋は押すだけで
完全にロックされます。
7. レバーを巻上げて、シャッターを切
る操作をくり返し、
8. 枚数計が0になると1枚目の撮影準
備ができます。



- * フィルム装填後1回目の巻上げのときレバ
ーが空送りすることがありますから、念の
ためもう一度巻上げてください

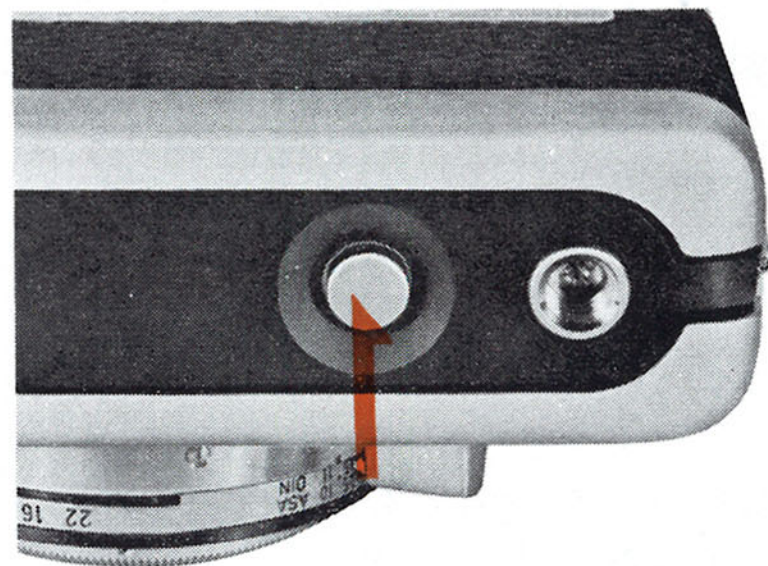
フィルム装填の確かめ

- * レバーを巻上げたとき、巻戻しクランクが
同時に回転すれば正常です。その際パトロ
ーネ内でフィルムがゆるんでいると巻戻し
クランクが回らないことがありますから、
予めクランクをひき起して時計方向へ2~
3回まわしてたるみをとっておくこと。フ
ィルムが正しく装填されていないときはも
う一度つめなおしてください

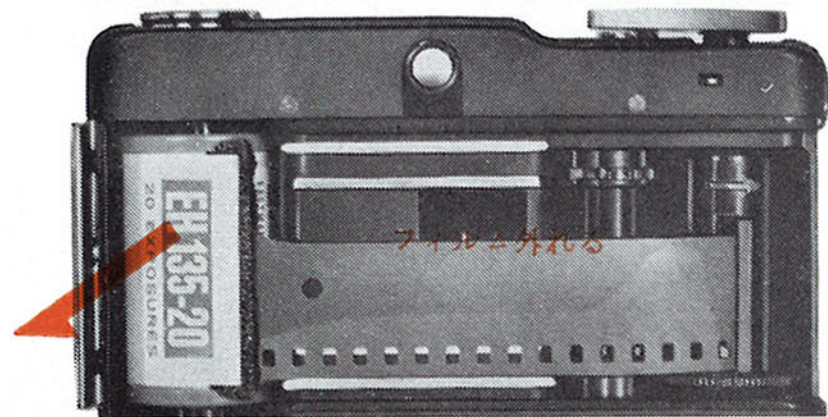
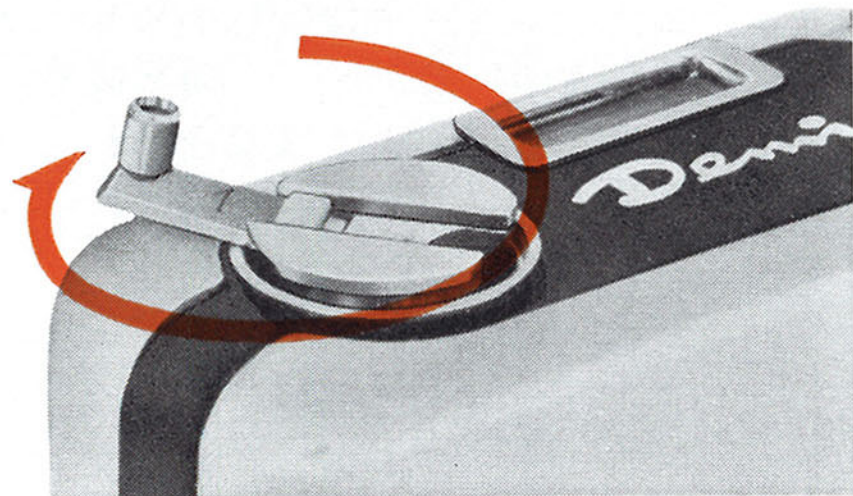
フィルムはパトローネ(容器)から裸のまま巻取られています。したがって撮影後そのまま裏蓋を開いて取出すことはできません。

一旦必ず元のパトローネに巻戻さねばなりません。

- ・フィルムが終りになるとレバーはきつくなり、巻上げができなくなりますからフィルムを巻戻します。
- * 無理に巻上げるとフィルムは切れて元のパトローネに戻せなくなり、暗室かダークバッグが必要となりますからご注意ください。



1. 巻戻しクランクを引起す（ノブ全体が少し浮上ります）
2. カメラ底部の巻戻しボタンを押し込んだまま巻戻し，クランクを矢印方向に回します．抵抗が軽くなったならば巻戻し操作を止めます．
3. クランクを折畳みます．（巻戻しクランクをたたみ，ノブ全体を軽く押すとクランクは収納されます）
4. 裏蓋を開きます．
5. 撮影済みのフィルムを取出します．



裏蓋を開けてフィルムを取出す

フィルターの使いかた

フィルターはレンズ前枠にねじこんで用います。

フィルターは黑白フィルム、カラーフィルムに対してそれぞれ特有の効果を現わします。また露出過度になる条件下ではNDフィルターなどで露出の調整をすることもあります。

* フィルターは濃度や種類によって露出倍数があります。そのため撮影のさいその倍数だけ露出を多くかけねばなりません。



(絞り数値を補正する方法)

露出調節リングを回して適正露出を求めたとき、シャッタースピードに対応する絞り数値はリングの下側に表示されます。

フィルター倍数が2倍であれば、露出調節リングを動かし、指標上にある絞り数値を次の白丸印に移します。

例 適正露出の絞り数値が 5.6 であれば

5.6 を図の如くに移す。

* 次の白丸印は4倍用です。

(フィルム感度を変える方法)

- 使用しているフィルム感度をを露出倍数で割り、
- その数値にフィルム感度を合わせ直す。
- 例 フィルムが **ASA 100** でフィルター倍数が 2 倍であれば、 $100 \div 2 = 50$
つまり **ASA 50** にフィルム感度を合わせ直しておく。
- この方法は開放絞りとなるまでの段階で露出補正ができます。
- その後は普通に露出の調節を行う。

以上の調整をしないと正確な露出が得られないこととなります。

露出 倍数	種 類	
1	UV (SL 39.3C)	黑白・カラー共通
1.5	Y1 (SY 44.2C)	} 黒 白 用
2	Y3 (SY 50.2C)	
3	O1 (SO 56.2C)	
6	R1 (SR 60.2C)	
3	G1 (MG 55C)	
1	スカイライト	} 黑白・カラー共通
4	ND4 ND8	
2	カラーコンバージョンA	} カラー用
3	カラーコンバージョンB	

フィルター効果

- ・紫外線だけを吸収し、各色光には無影響です。海辺、高山などの紫外線の多い所では特に有効です。カラー撮影の常用フィルターとしてもおすすめします。
- ・黑白フィルムに利用して写すもののコントラストを強めます。海の色を整えたり、青空をおさえて白雲を浮き出させます。赤や黄色は多少明るくなります。
- ・青色はかなり暗く、黄や赤が見た目より大分明るくなります。コントラストを強調し遠景には特に有利です。
- ・コントラストを強調し場合によっては白昼の調子も夜景に近くなります。赤外フィルムに併用するフィルターでもあります。
- ・赤が極端に白くなるのを防ぎ、空や顔を適当な明るさの調子にし、新緑などの明るさもそのまま表現します。
- ・青空や木蔭の色を自然に近づける作用をします。
- ・ND 4 は 1/4, ND 8 は 1/8 に光量を減じます。カラーの色光再現性には全く影響がありません。
- ・タングステンタイプフィルムを太陽光下で撮影する場合に色温度を転換するカラーフィルム専用のフィルターです。
- ・デイライトタイプフィルムを電灯光下で撮影するための色温度転換フィルター。

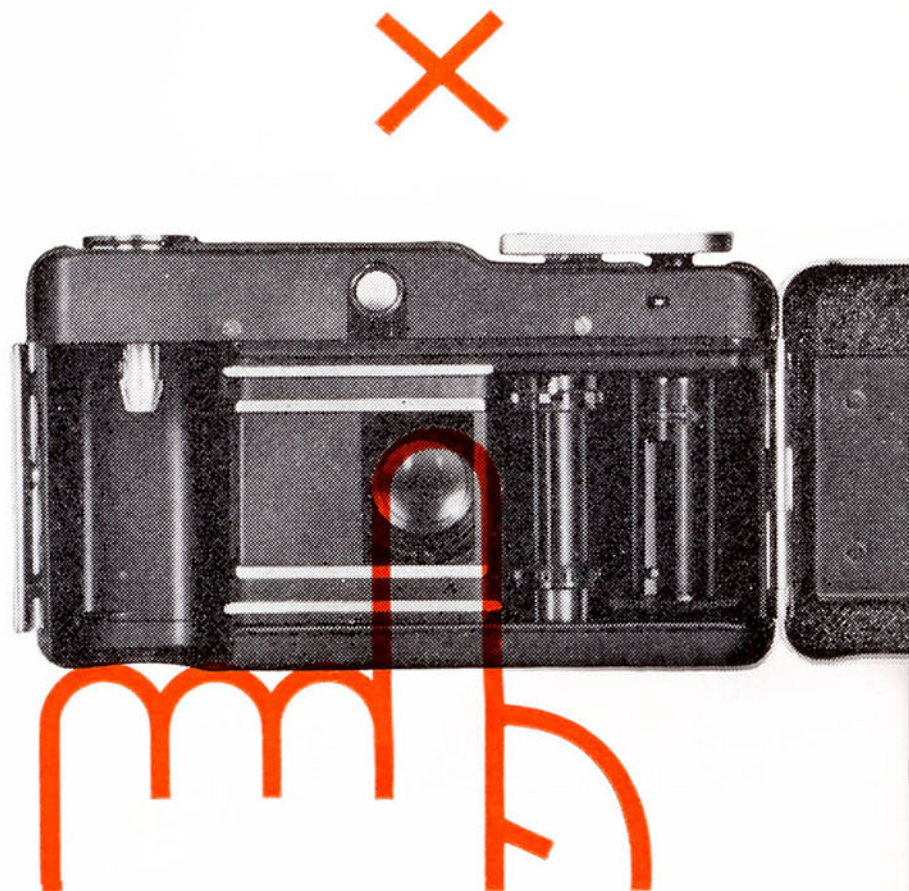
ご使用上の注意

Demi ©

- キヤノンデミCのシャッターはレンズの後にあるビハインド式で裏蓋を開くと手前にシャッターと絞り羽根が見えます。これらは微妙な露出調整を行うものですから手を触れないようご注意ください。

キヤノンデミCを十二分にご利用頂くために次の点にご注意ください。

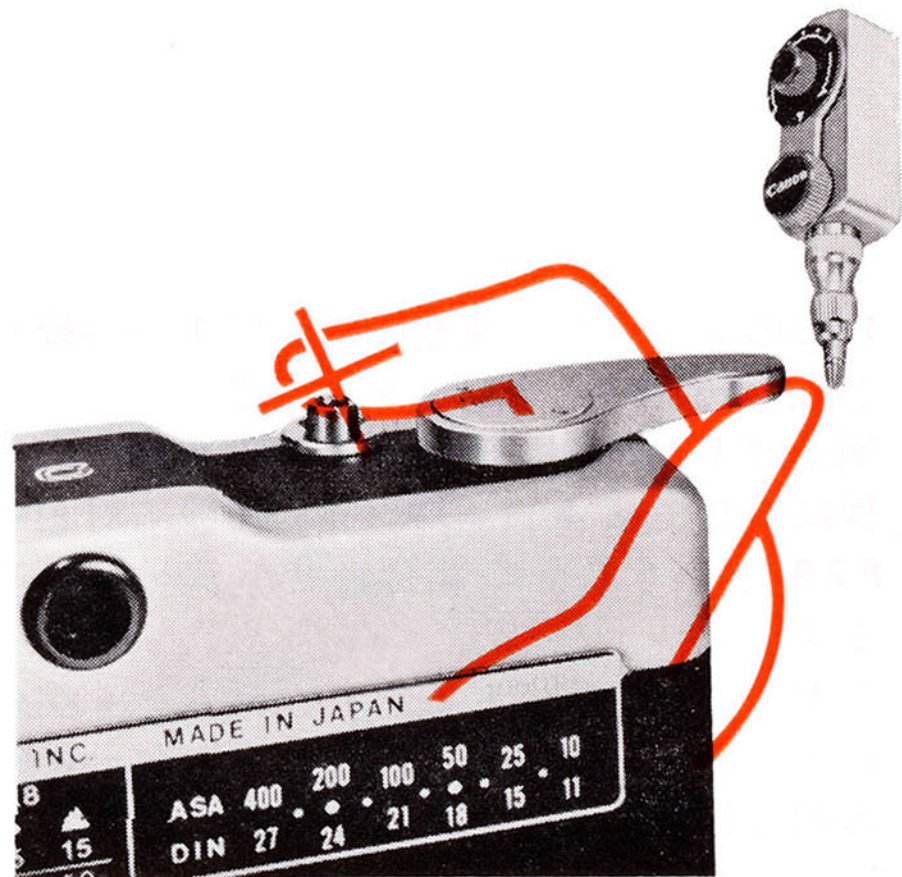
- シャッターボタンを押したままフィルムを巻上げないこと。巻上げと同時にシャッターが切れてしまいます。



セルフタイマーを使う場合

シャッターボタンが非常に軽く切れるよう設計されておりますので次の点にご注意ください。

- セルフタイマーを取付けるにはカメラの巻上げレバーを巻上げる前に取付けてください。
- カメラの巻上げはセルフタイマーを巻上げてから行ってください。
- リストストラップのご注意。
取付けが十分でないと、カメラを落とすおそれがあります。
硬貨などで十分ねじこんでください。



プログラムシャッターとは

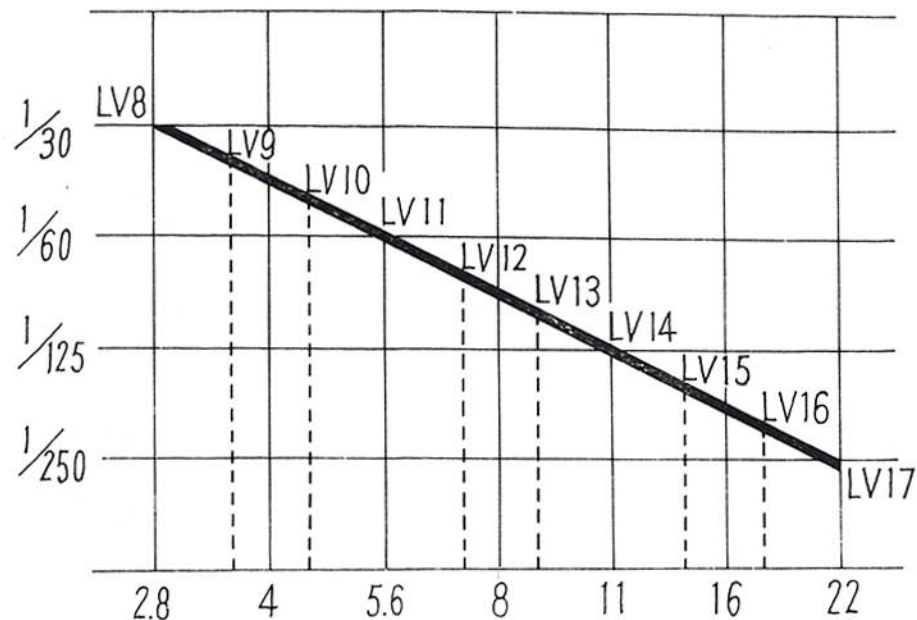


1つのシャッター速度に対して1つの絞り値が組合わされたシャッターです。

例えば $1/250$ 秒に対しては **F22** の絞り, $1/125$ 秒に対しては **F11** の絞り, $1/30$ 秒に対しては **F2.8** という具合に組合わせが決められています。

キャノンデミCはこのプログラムシャッターにメーターを連動させて、シャッターと絞りの組合わせを連続無段階に調節するもので、右図の如くなります。

プログラムシャッター変化図





カメラの保存に高温と湿気は禁物です。タンスなど密閉した所とか写真暗室や薬品の多い部屋に長くおくことは感心しません。むしろ、折あるごとに撮影にご利用いただく方が望ましいことです。

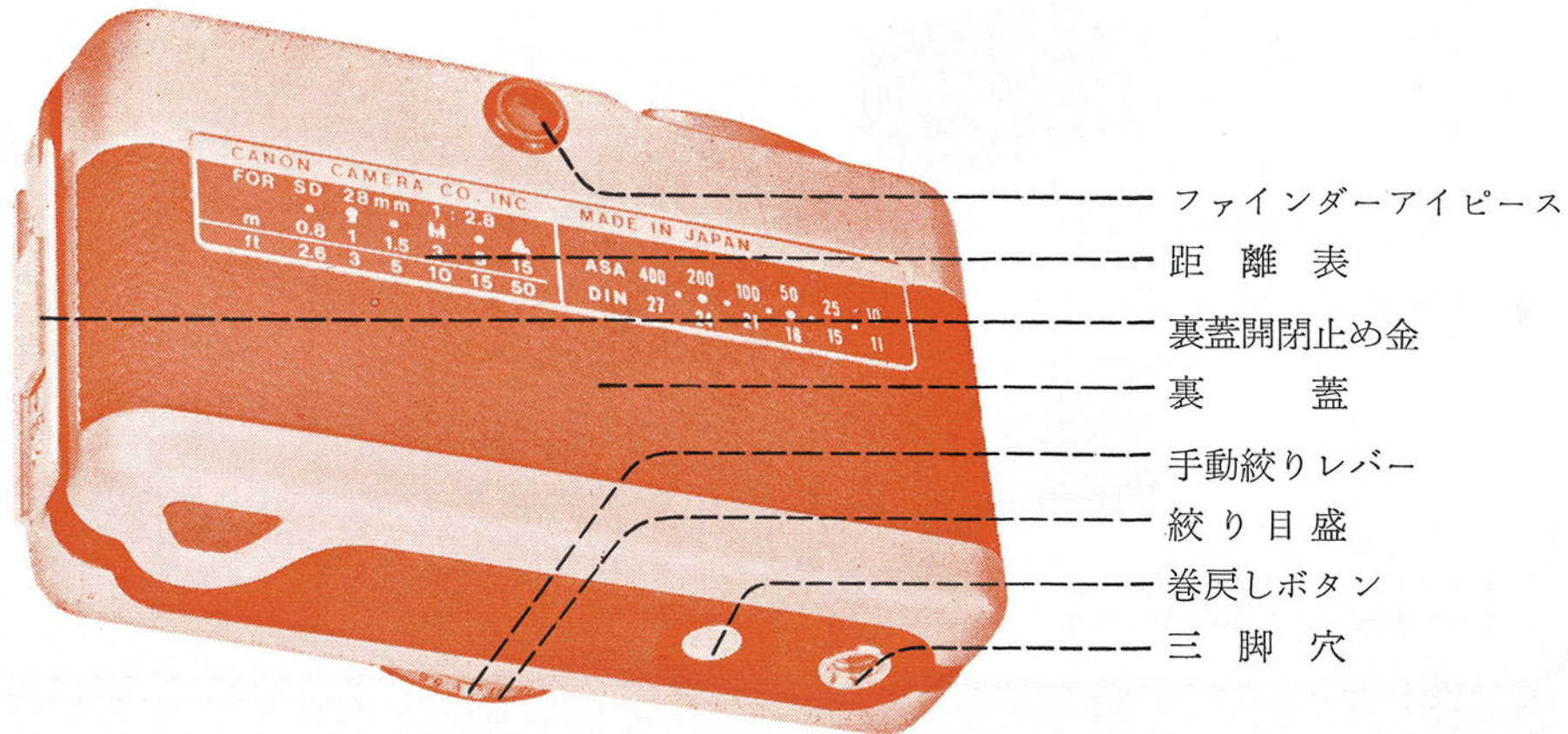
デミの手入れ

野外で使ったカメラは塵埃がつきやすく、また雨の日や海辺で使ったときは、気付かないうちに水滴や塩分を受け勝ちなので、放置するとシミや錆を生じ、またレンズの焼けや腐蝕の原因になります。このような場合には、柔い刷毛で埃を払い、更に乾いた柔い布で丁寧に拭きます。油類は使用しない方が安全です。汗ばんだ指で触れるのも禁物です。

レンズの手入れ

レンズにはなるべく手を触れないのが安全で、柔い刷毛か羽で埃を払う程度にとどめたいのですが、やむを得ないときは、洗いさらした柔い清潔な綿布を棒に細く巻き、先端にわずか湿る程度のアルコール（エーテルを少量まぜても可）を付け、レンズ面の中心より外側に、渦巻きを描くようにして軽く静かに拭きます。拭くそばからアルコールが乾いていく程度が良好です。強く拭いたり埃の付いているままで拭くとかえってキズを付けますから注意が大切です。

- ・カメラを海水に落したときは時を移さず清水で洗い、きれいに拭いたのち修理にお出してください。グズグズしていると腐蝕のため回復不能になります



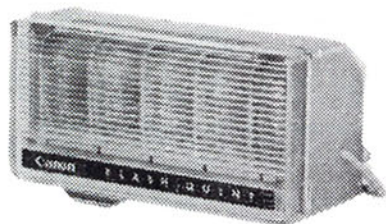
アクセサリー

- フラッシュ ユニット J-3 1,050 円



ベースレスバルブ専用 AG・PH ソケット内蔵切換式

- フラッシュ クイント 2,950 円



5 コのフラッシュバルブを連続発光させることができる小型発光器です。AG タイプ専用。

- キヤノンリリース 全金属製 250 円



- フラッシュユニットカプラー 300 円



- セルフタイマー 6 540 円



キヤノンカメラ株式会社

東京・大田区下丸子町 312 電話 738 大代表 2111

営業所・サービスステーション

銀座・東京都中央区銀座 5-3 (吹原ビル 1 階) 電話 572-4271-3

八重洲・東京都中央区八重洲 3-1 (大久保ビル 2 階) 電話 271-0391-2

大阪・北区梅田 2 (第一生命ビル 2 階) 電話 361-1261

名古屋・中村区広小路西通 3 (大商ビル 6 階) 電話 58-3811-4

福岡・天神 1-11-17 号 (福岡ビル 9 階) 電話 76-2818-1061

広島・広島市幟町 14-11 号 電話 21-4615-6

札幌・北三条西 4-1 (第一生命ビル 4 階) 電話 23-5788-22-7322

仙台・東二番丁 6-8 (富士ビル 8 階) 電話 25-0215-7

新潟・新潟市東大通 1-2-3 (マルタケビル 7 階) 電話 4-0758-9

静岡・静岡市御幸町 9-2 (大吉野ビル 2 階) 電話 54-3936

